

あおいクリニックで実践 エイジングによる “下垂”を解消して 若くなる

**四角くなるフェイスライン、
眉、目尻、口角の下がりを
持ち上げる、若顔プラン**

エイジングが進むと、肌はバーンと張った質感から、ゆるみやしぼみを感じる質感に変化する。それは弾力やハリを低下するため、表情による動きや重力の影響が現れやすくなる。シワが刻まれ、目の下やこめかみ、頬がこけてきて、へこみができ、眉や目尻、口角が下向きになってくる。頬が下がるのでフェイスラインももたたりしくなる。こうなってくると、顔はだんだん老けた印象になるのだ。これをメスを使わずにどう若くしていくか？ まずはあおいクリニック院長・中野あおい先生が考える、「若い顔」の条件とは？

「顔型は逆三角形のイメージ。フェイスラインがすっきりしていること、口元、目元が上がっていること。肌に色ムラがなく、透明感があってみずみずしく、ファンデを厚塗りする必要がない状態です。」

つまり、下垂の解消と肌質改善のアップを重視するのが中野先生のアプローチでは、若い顔”を作るうえで大切にしているのは？

「単に若く見えるだけでなく、その方の顔立ちや雰囲気を生かして美しくすること。1種類の施術だけでは、効果的な美容医療を組み合わせて、その方にあった治療プランを提案します」

今回の企画では、先生の考えや美意識も伝えたいので、私からの細かいリクエストはなし。ただ一つ「老けの要

素を改善して、若い顔に仕上げてくださいます」と伝えると「たるみが全体に現れてフェイスラインが四角くならないので、逆三角形に近づけますよ。頬に高さを出して、あご先も尖らせるとフェイスラインがシャープになりますよ」と提案が。4つの注入施術を組み合わせて、すっきり上がった顔に

施術に使う注入モノは4種類。フェイスラインのもとつきをすっきりさせるためにメソフェイスタイエット。これは脂肪分解注射。カルチニンなど脂肪を分解促進する成分を注入し、朝晩軽くマッサージ。そして徐々に脂肪が減って頬の下側やフェイスラインがすっきり締まってくる。二重あごの解消にも効果的だ。

「顔立ちのメリハリを際立たせるにはヒアルロン酸の注入。あご先をゆるやシャープに尖らせ、頬には高さを出します。笑ったときにふくら盛りがあがる程度であれば、口角がクツと上がった唇にも入ります。そして、唇の口角部分にも入れて、口角がクツと上がった唇にも入ります。そして、唇の口角部分にも入ります。そして、唇の口角部分にも入ります。」

「さらに、あごの筋肉がデコボコしないよう、あご先にも注入します。ポトックス注射は筋肉の動きに働きかけるので、表情ジワを防いだりリフトアップ効果が得られる。」

「そして「肌全体にもっとハリがほしいため、ヒアルロン酸やEGF細胞再生を高める成長因子・グロウソファクター」を顔全体にメソセラピーで注入します。即効性があり、ねっとりしたハリ感のある肌に変わっていきますよ。メソセラピーはクリニックによって注入成分や組み合わせが異なるから、内容は要子エックの施術だ。

初回の施術ではこの4種を注入。ポトックスの効果が見れるのは3〜4日後。1週間後に効果の出方をチェックしてリタッチを行う。2〜4回目の施術ではポトックス以外の3種を行った。

注射の前には麻酔ジェルを使用するので、痛みはゼロです。はげざりや軽減されることがあるが、数日から1週間です自立たなくなり、10〜14日で消える。その間はコンシーラーでカバーする。仕上がりは249ページの写真。若くなったらどうか？

先生が指す「若い顔」は、その人の実年齢10歳。スキンケアでなく美容医療しかも切らない治療だけを行ったなら、10歳に見える顔は大成功と言える。3〜4歳若い程度じゃ「えーっ、意外に若いねー」って驚かすレベルだぞ、10歳なら「えーっ」って驚かされる。美容医療にはそういう力があるのだ。



**あおいクリニック
中野 あおい 院長**

皮膚科医、内科医。海外の学会にも定期的に出かけ、技術だけでなく美意識も磨くことを心がけている。『私が美容医療に目覚めたのは30歳を過ぎて、寝ている間に目が目覚ましくなったから。30代から美容医療を始めるに、軽い施術でも効果が得られますよ』

☎03-3569-0686
中央区銀座5-5-13 坂口ビル5F
※10:00〜19:00
※木・日・祝
www.aoi-clinic.com
目尻ポトックス1回 ¥52500、若



after before